大仙市立太田南小学校　学校報

あかまつ

令和３年度
第47号
令和３年１１月２２日

《学校教育目標》　夢に向かって 本気で チャレンジ！ 笑顔の花さく 南っ子

ブラームスをたっぷりと

16 日に，指導主事の先生においでいただき，６年生の音楽科授業研究会を行いました。45 分間たっぷりとブラームス作曲「ハンガリー舞曲第５番」を味わいました。旋律の反復や変化，速度や強弱，調の変化など，曲想の変化を感じ取りやすい曲です。

聴いている音楽は同じなのに，子どもによってはアニメの「トムとジェリー」のように感じたり，映画「マスカレードホテル」（分かります？）の犯人を追い詰める主人公のように感じたり…。でもそれは 150 年も前にブラームスがこの曲にそういう仕掛け（音楽の要素）をしたから。その仕掛けに気付き，グループや全体の前で発表する子どもたちの姿がありました。「はじめは曲と子どもたちの間の距離が遠いように思えたが，授業の後半には距離の縮まりを感じた。指揮棒を振る体の動きも，音楽に浸っていることがわかり，よかった。」とお褒めの言葉をいただきました。この後，曲想の変化を自分たちの合唱や合奏に生かしていく予定です。

中学校の先生に体育を教えていただく

太田中学校の〇〇先生は，保健体育の先生です。職員同士でお互いの授業を見合うということは前々から小中連携ということで行っていましたが，今回は，中学校の先生に子どもたちが体育を直接教えていただくというものです。目的は，

- 体育専門の先生から教えていただくことで，動きのコツをつかめる。
- 中学校教員と小学校教員とが互いに情報交換をすることで，多方面から子どものよさを認めることができる。
- 中学校生活への円滑な接続（「太田中に入学したら，吉澤先生に教えてもらえるんだな」と将来の自分の姿を思い描く）。

等があります。また，中学校の先生の立場から考えると，小学生への指導に取り組むことで自分の研修につながり，中学生への指導に生かせることがあると思います。小学校の先生の立場からは小・中学校間の学びのつながりを意識して指導するようになったり，体育指導の理解を深めることができます。まさに Win－Win の関係です。

時間割の調整もあって，毎回というわけにはいきませんが，今回は３年生以上の跳び箱運動を１時間ずつ計４時間ご指導いただくことになりました。さっそく 18 日は３・４年生の体育学習が行われ，「着地がピタッと決まってうれしかった」「着地の『ふわっ』を気を付けたらうまくいったのでよかった」「『ドン，パン，ふわっ』の順序でやったら，跳び箱は久しぶりだったけどできてよかった」「手の付き方がよく分かった」というような子どもの感想が聞かれ，この取組の意義を感じたところです。

おめでとう!

三種町メロンカップ

第３位

中仙バレーボールスポーツ少年団

第１回　集まれ！ちびっ子杯争奪（U-10）大会
一部

準優勝

中仙バレーボールスポーツ少年団